

平成 22 年度第 5 回年金業務監視委員会 議事要旨

- 1 日時 平成 22 年 9 月 7 日（火）16:00～19:00
- 2 場所 中央合同庁舎第 2 号館 地下 2 階 第 2、第 3 会議室
- 3 出席者
（委員会）郷原委員長 高山委員長代理 片桐委員 草野委員 村岡委員 吉山委員
（総務省）階総務大臣政務官
田中行政評価局長 宮島年金業務監視委員会事務室長 讃岐総務課長 平野評価監視官
明渡評価監視官
（地方自治体・社会保険労務士）5 名
- 4 議事次第
地方自治体職員及び社会保険労務士からのヒアリング等
- 5 会議経過
 - 年金業務に携わっている地方自治体職員及び社会保険労務士から、日本年金機構移行後における現場の実情について、ヒアリングを行った。
 - 地方自治体職員からは、日本年金機構が来年 2 月に導入予定の「ねんきんネット」（仮称）の構築について、既存の市区町村情報提供システム端末を活用することはセキュリティなどの面で重大な問題があるのではないかと指摘があり、この点については、今後、委員会として、厚生労働省に確認していくこととなった。
 - 社会保険労務士からは、コールセンターなどの外注された業務について、仮に外注スタッフから不正確な回答が行われた場合、年金加入者に大変な損害が生じる可能性もあるため、外注のデメリットも十分考慮していかなければならないのではないかと指摘があった。
 - 紙台帳等とコンピュータ記録の突合せ業務について、多数の委員から疑問が出されたため、今後、さらに議論を行っていくこととなった。
 - 次回の委員会は、開催日未定。

（注）速報につき、訂正の可能性あり。

（文責 年金業務監視委員会事務室）